

会 議 録

1 会議名

令和6年度 第1回上越市スポーツ推進審議会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 第3次総合教育プランに基づくスポーツ施策の実施状況（令和5年度実績）（公開）
- (2) 第3次総合教育プランに基づく令和6年度のスポーツ関係施策の実施予定（公開）
- (3) 令和6年度スポーツ推進審議会日程（公開）

3 開催日時

令和6年6月4日（火）午前10時から

4 開催場所

ワークパル上越 視聴覚室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：土田了輔、佐藤正明、福田功、江口利彦、饒村泰世、市川重雄、國弘泰昌、市川康男、川澄陽子
- ・事務局：スポーツ推進課
石田課長、倉石副課長、板垣係長、柏村係長、池田主事、佐久間生涯スポーツ指導員、堀首地域クラブ活動コーディネーター、西條地域クラブ活動コーディネーター
地域クラブ活動推進室 市川室長、学校教育課 曾根原指導主事

8 発言の内容

○議題(1)第3次総合教育プランに基づくスポーツ施策の実施状況（令和5年度実績）

土田委員長：資料 1-2 の「評価」で多目的広場を主に利用するサッカーチームが前年度と比較して5チーム減少したとあるが、チームそのものが無くなったのか。または、別の施設を利用することとなったのか。

事務局：チーム数が5チーム減少したものである。

土田委員長：減少したチームは大人のチームか。

事務局：資料を持ち合わせていないためお答えできない。

○議題(2)第3次総合教育プランに基づく令和6年度のスポーツ関係施策の実施予定

①

佐藤副委員長：資料2-1の「3 スポーツ競技力の向上」における「目標を達成するための主な取組」の「①ジュニアアスリートの育成」内「ジュニアトップアスリート育成強化事業」について、資料には山岳が入っているが、山岳は「地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業」に移行したのではないか。どちらの支援も受けられるということではよいか。

事務局：山岳は「地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業」に移行したため、「ジュニアトップアスリート育成強化事業」からは削除する。

②

市川重雄委員：資料2-1の「3 スポーツ競技力の向上」における「目標を達成するための主な取組」の「③スポーツ活動サポート事業」について、指導者がいないという噂が聞こえてくるが、指導者の確保の見通しは立っているのか。

事務局：スポーツ活動サポート事業は、「部活動指導員」が確保できなかった場合に支援するものである。学校教育課との連携の中では、今のところ指導者は確保できていると承知している。

○その他 地域クラブ活動推進の概要（地域クラブ活動推進室）

市川康男委員：今後、中学校体育連盟の大会はどのようになっていくか。

江口委員：中学校体育連盟の今後の大会に関する具体的なことに関しては、令和7年度まではある程度予定されている。令和8年度も全国大会までの開催地は決まっているが、大会の開催の有無については決定していない。昨年度も、全国大会の縮小の話

はあったが、各種目による事情もある。全国大会がどのような形で行われるかによって、県大会や地区大会の開催方法についても決まってくる。現時点では、全国大会がいつからどのような形になるのかがわからない状態である。

市川室長：地域クラブ活動推進室では、中学校体育連盟の大会の方針は競技団体の皆さんも気になることかと思われることから、SC ネットや上越市スポーツ協会等の関係団体と連携し、情報交換を頻繁に行っていきたいと考えているので、ご協力をお願いします。

○全体を通した質問・意見

①

市川康男委員：5月11日に開催された「地域クラブフェア」に子どもが781人来場したとあるが、そのうちの小学生と中学生の割合はどのくらいか。

市川室長：手元に詳しい資料はないが、大部分は小学生だった。中学生は少ない傾向にある。興味を持った小学生が保護者と大勢来場したと考えている。「きっかけづくり」という側面が強く出たと考えている。

②

川澄委員：6月1日に妙高市の障害者団体と共同でボッチャとスカットボールを行った。当日は、特別支援学級の皆さんからも参加したいと依頼があり、約10人に参加してもらった。その時に、特別支援学級の代表の方から「ボッチャの練習をしているが、対戦を行う機会が全然ない。」と言われた。「県大会には参加しているが、県大会はレベルが高いため、できれば市内でそのような大会を開催してもらえないか。」と提案があった。私も賛成で、そのような大会があってもよいと考える。ただし、引きこもりがちの方が多いため、そのような方たちにどのように参加をしてもらおうかが課題と考える。

③

國弘委員：冒頭の挨拶で早川教育長から、各市町村で地域クラブ活動推進の状況が異なるという話があった。新潟市では中学校の部活動の地域移行ではなく、部活動その

ものを検討する必要があるという状況にあると聞いた。夕方 6 時以降に子どもたちが帰るような形は避け、通常の下校時間には帰れるように課外活動を行う考えになってきていると聞いた。糸魚川市や妙高市などの近隣の市町村はどのような形になっていくかが心配である。地域の活動はその変化に合わせることができるのか、また、どのように支援していくことができるのかが課題と考えている。近隣市町村の現状と、検討の方向性を教えてほしい。

市川室長：地域によって条件もさまざまであり、学校の部活動の方向性もそれぞれの教育委員会の考え方によって変わってくると考える。近隣の市町村の状況については、私の理解で誤ったことも言えないが、それぞれに違いはあると感じる。上越市は広く、各地域による状況の違いがあるため、それらも考え合わせながら地域クラブの環境整備を進めている。現時点では、近隣の市町村の状況を上手く表現できない状況にある。

9 問合せ先

教育委員会事務局 スポーツ推進課 企画推進係

TEL：025-526-5111（内線 1475）

E-mail：sports-k@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください